

昭和40年7月号(通刊第149号)

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番町通町・新潟県教育庁社会教育課内】

【電話・(新潟)35511 内線624・625】

【振替 新潟 40941】

発行人 会長 吉津 勝栄
編集人 事務局長 本田 清

一毎月1回 15日発行一

【定価1部15円千共・年権180円】

題字 新潟県知事 塚田 十一郎

新潟県 公民館月報

第16回佐渡県大会終わる



部会討議盛り上がりならず

観光シーズンで地元は苦勞

第十六回県大会がさる七月九、十日の両日、佐渡郡相川中学校、同相川公民館で開催された。地元島内からの約三百名、上田下越から約二百名、計五百名が参加、本年度の全国共通主題「公民館は、住民のよりよい生活を築くために、どのような方を講ればよいか」を中心に三部会六分科会による討議をくりひろげた。二日目の分科会報告を聴きおぼろげに、と教育評論家重松敏一氏の記念講演、新潟日報論説委員成沢猛氏の講評をきいてふじ幕を閉じた。しかし総力を上げて受け入れ態勢の万全を期していた地元の苦勞も、折りからの観光シーズン、また時間的な制約等のあおを受けて美りが少なかった。

た。(別稿)このあと西野相川町長、重田佐渡町村会長の祝辞があり開会を終わった。当初出席を予定されていた塚田知事は、県会が繰り下げられて開会されたためどうしても不参加のやむを得なかった。二時三十分より、西野相川町長、吉川県教育次長、成沢日報論説委員長の三氏によるシンポジウム、三時四十分より二時間になる。婦人分科会、青年分科会も中途へあたり大分科会に分かれての部会討議があり、六時からは相川公民館で行なわれた。郷土芸能を鑑賞して第一日を終わらせた。

第二日午前九時からの部会報告が行なわれたが、時間的にも制約があり、質問は一つのみという低調でさであつた。このあと、教育評論家重松敏一氏の「現代生活と社会教育」と題しての記念講演は「現在の社会教育はエリートへばかりが中心なので、大衆はつらむを向いてる。また婦人会、PTAの役員から次のような講評があり、式

開会式は午後二時三十分、相川高校ブラスバンドの吹奏する君が代で幕を開いた。高橋副会長が代で幕を開いた。高橋副会長の開式のことば、吉川県教育次長吉津本会会長のあいさつとつづき前会長飛田一郎氏、前副会長梅山八十二氏、前理事小杉龍次郎氏へ感謝状贈呈、優良公民館三館、優良職員十九名へ表彰状を贈呈して

昭和40年度感謝状贈呈者 被表彰公民館・職員名簿(敬称略)

- 感謝状贈呈者
- 飛田 一郎 前本会長 (高田市高田公民館長)
 - 梅山 八十二 前本会副会長 (直江津市福祉事務所長)
 - 小杉 龍次郎 前本会理事 (村上市助役)
- 公民館の部 (順不同)
- 荒川町公民館 岩船郡荒川町
 - 相川町公民館 佐渡郡相川町
 - 神林村公民館 岩船郡神林村
- 役職員の部 (順不同)
- 山本 一磨 (佐渡郡相川町公民館主事)
 - 山田 武夫 (佐渡郡新穂村公民館主事)
 - 栗取 克巳 (中蒲原郡村松町公民館主事)
 - 熊倉 久義 (南蒲原郡下田村公民館主事)
 - 今泉 富栄 (南蒲原郡下田村公民館主事)
 - 池田 清 (十日町市中条地区公民館主事)
 - 平沢 博 (栃尾市公民館主事)
 - 西須 誠吾 (加茂市公民館主事)
 - 五十嵐 清 (北蒲原郡豊栄町長浦公民館主事)
 - 大野 市平 (北蒲原郡豊栄町長浦公民館主事)
 - 大滝 儀一郎 (岩船郡神林村公民館主事)
 - 高橋 可一 (岩船郡朝日村公民館書記)
 - 平井 康夫 (新井市公民館主事)
 - 山家 鶴吉 (三条市本成寺公民館主事)
 - 小野 岩男 (新潟市中央公民館主事)
 - 大沢 正一 (新潟市公民館大江山分館主事)
 - 細山 芳康 (新潟市公民館中野小屋分館主事)
 - 天兒 淑子 (新潟市公民館普野木分館主事)
 - 風間 清春 (高田市高田公民館主事)

目次

関東甲信越地区研修会要項…………… P・2

今後の公民館：私ぼこそ思…………… P・3

分科会ハイライト…………… P・4・5

全国社教委協議会に参加して…………… P・6

県青年学級生大会要項…………… P・7

昭和40年度関東甲信越静地区 公民館職員研修会開催要項

関東甲信越静地区公民館職員研修会は、文部省が例年各県持ち回りで行なっている職員研修会である。ことしは本県佐渡郡において開かれることになり本県教委が例年行なっている、いわゆる公民館職員長期講習の前期講習を兼ねて行なわれることになった。したがって本県参加者は9月上旬県青年の家で行なわれる予定の後期講習を受ければ7単位を履修したことになる。

1. 趣 旨

公民館の施設および運営の充実強化を図るため、これに必要な知識と技術を中心として、関東ブロック公民館の職員に研修の機会を提供する。

2. 主 催

文部省、新潟県教育委員会

3. 後 援

新潟県公民館連合会

4. 期 日

昭和40年8月3日(火)～7日(土) 4泊5日間

5. 会 場

第1会場 新潟県阿津市大字椿 大佐渡ロッジ
第2会場 " 佐渡郡金井町大字中興 白雲荘
第3会場 " 佐渡郡相川町春日崎 ホテル大佐渡

6. 参加者

- (1) ブロック内各都県管下の公民館職員各5名程度
- (2) 新潟県内公民館職員 50名

7. 参加申込

別紙様式により、新潟県以外の各都県では、各都県教育委員会で一括とりまとめのうえ、新潟県内では各市町村教育委員会ごとに7月28日までに次へ申し込むこと。
新潟市一番通 新潟県教育庁社会教育課
電話 新潟(3)5511 (代) 内線622～625

8. 参加費

- (1) 宿泊費 4泊分 4,500円
- (2) 資料その他雑費 若干

9. 講義題目および講師 (一部交渉中)

- ・ 地域開発の現状と課題
東洋大学教授 米林富男
- ・ 社会教育の当面する課題
群馬大学教育学部教授 永杉喜輔
- ・ 公民館事業の企画と運営
文部省社会教育課
- ・ 広報の意義と館報の編集技術
上智大学講師 樋上雅一
- ・ よろず相談とカウンセリングの方法
文部省社会教育課
- ・ 話し合いの進め方
新生活運動協会 田辺信一

10. 研究協議

- (1) 主 題
 - ・ 市町村の地域開発計画と社会教育計画
 - ・ 社会教育における広報活動の問題点
 - ・ 公民館活動の現状と問題
- (2) 司会および助言者
講師および各都県教育委員会施設担当社会教育主事

11. 日 程 下図のとおり

12. その他

- (1) 視 察
大佐渡 スカイラインコース 尖閣湾～相川町郷土博物館～佐渡金山跡～佐渡博物館～真野御陵～国分寺～妙宣寺 等
- (2) 都合によって8月2日(月)に新潟市での宿泊を希望する者には、市内の県立青年の家をあっせんする。
- (3) 佐渡汽船(新潟・阿津航路)時刻

新潟発	阿津着	阿津発	新潟着
8:00	10:30	8:30	11:00
9:00	11:40	11:30	14:00
12:30	15:00	16:00	18:30
16:10	18:40	17:00	19:40

- (4) 佐渡汽船新潟乗船所へは新潟駅前から「佐渡汽船行」バスがある。
- (5) 阿津港には案内所を設け、そこから第1会場「大佐渡ロッジ」へ案内する。

日 程 表

時間 月日	曜												
	8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	1:00	2:00	3:00	4:00	5:00	6:00	7:00	8:00
8月5	火							受 付	夕食, 入浴	懇 談 会			
4	水	開講式	地域開発 (米林)	昼食	広 報 (樋上)	会場移動		夕食	研究協議				
5	木	研究協議 (事例発表)		昼食	公民館事業 (文部省)		夕食	研究協議					
6	金	相談技術 (文部省)		昼食	話し合い法 (田辺)		会場移動	夕食	研究協議				
7	土	社会教育 (永杉)		閉講式	昼食	視 察							

シンポジウム

今後の公民館…私はこう思う



(壇上の左から成沢、吉川、西野、樋口氏)

市町村行政反映の立役者たれ……西野氏
 縦割行政の調整役つとめよ……吉川氏
 公民館運営審議委員の努力望む……成沢氏

県大会第一日目、本会場口副会長の司会で西野相川町長・吉川県教育次長・成沢日報論説副委員長の三氏によるシンポジウムを開いた。

西野相川町長

金井の村長をしていいたとき、公民館はなくてはならぬものといふ言葉を聞いて飛び回ったことがある。十年前の公民館は、村行政を住民に反映させる立役者であった。しかし、相川の現状をみると町の観光行政の一役をこなすものとして位置づけられているのは遺憾である。

一つの例であるが、姫津大川の復興状況をみると、近代的建築が建ちはじめている。これは、若い人の考え方が強く打ち出された現われでもあると思ふ。これは、町の公民館活動による住民意識のたかまりのためと考へていいのではなからうか。

公民館活動は、若人のすすむべき道を重点的にとり上げていくことが大切である。

吉川県教育次長

私は公民館運動を提唱した一人である。十年間、直接社会教育からはなれ、プランクがあるが、果ては委員の立場から申し上げる。本県の長期総合計画の中で社会教育の役割は、とくに公民館の場合には大会資料にある「県公民

館の整備育成方針」(本紙7月号4、5面所載)にも示されているように大きなウェイトが置かれて

いる。本県は、後進県であったため、四年間に高校を十七校もつくるといふ、高校ビークの対策、追い回されてきた。その結果社会教育に手が回らなかつた。しかし、高校対策も昨を越えたので、こんどは社会教育にも、予算をつぎ込むことにならう。

公民館は一般行政の専門化、細分化による、縦割行政の流れを受け、調整役を果たしていかなくては、一方、広域行政の範囲での効率的な公民館事業も考へられていくべきではないかと思ふ。立法化するに、身ごきでなくならぬ

が、あれだけやれた。公民館ももっと要案をもつてやってもらいたい。

成沢日報論説副委員長

最近の公民館は力を失ってきた感がある。マスコミの発表、人口流動の余波、レジャーブームなど公民館に対する関心がうすれてきた。公民館はもっと強く

ならなければならない。公民館運営委員、社教委等で縦割行政のロスを生じ、解決への糸口をみつければ努力をすべきである

地域開発計画のなかに社会教育的分野を生かす方法を考へるべきである。人、施設、金の三要素をそろえる責任は理事者にあるが、運営審議委員は、そのための橋わたしの努力をしなければならぬ。

館長は難用で追いつまわされることとなり、もっと頭腦的な面でも働いてもらいたい。

質問 縦割行政の責任についてうかがいたい。
 答、吉川氏 縦割行政はいちがいによいわるはいえませんが、県としてはこれに対して努力している。例として青少年対策、企画調査課等の発想は横の連絡調整を考へたものである。

質問 相川町の総予算額における公民館教育費について、説明願いたい。
 答、西野氏 町財政多難のため、予算削減の計上にとままつてい

るが、将来大幅に増額するよう努力したい。
 質問 人、施設、金があれば、それだけで公民館活動はのびるといわれたが、どうか。
 答、成沢氏、それだけでは足りない事とは考へないが、頭腦の働き、熱意、反省、評価、これが三大要素である。

各館にぜひ一枚

人気歌手 北島三郎らが吹き込み

特製の「公民館の歌」のレコードが全公連の手で完成した。A面は「公民館の歌」B面は「公民館言頭」となっておりクラウンの人気歌手北島三郎らが吹き込んである。

公民館に対する一般の理解と親近感を深め、かつ公民館活動を通じて広く健全なレクリエーションを普及しようとするクラウンの協力で成ったもの。

公民館の各集落はもとより、市町村民運動会、あるいは小中学校の運動会、社教関係団体の諸活動等に採り入れ、広く県内に普及するよう、各公民館に一枚以上は備えていただきたいものである。

レコードが完成 公民館の歌

公民館の各集落はもとより、市町村民運動会、あるいは小中学校の運動会、社教関係団体の諸活動等に採り入れ、広く県内に普及するよう、各公民館に一枚以上は備えていただきたいものである。

申し込みは

県公連へ

- 一、レコードの内容
 - (1)レコードは17センチ、45回
 - 転スレレコード
- (2)・A面 公民館の歌 (自由の朝)
- ・B面 公民館言頭「みんな輪になろう」(藤島房長 入選作品)
- ・作詞 生田昌隆 (西宮市風川公民館)
- ・作曲 岩間三郎 (クラウンレコード専属作曲家)
- ・歌手 北島三郎 (クラウンレコード専属歌手)
- ・妻小千 (クラウンレコード専属歌手)
- ・民謡調振付 全日本民謡協会 指導者連絡協議会
- ・頒布について
 - ・頒価は一枚三百円とし(前金とする) 各公民館は一枚以上購入していただきたいこと。
- ・申し込み締切 七月末日
- ・申し込み先 県公連事務局
- 三、歌と踊りの普及について
 - ・各公民館では適宜時程に歌と踊りを指導する仕組みに、各種学級、講座等の休養時間等にはつとめてこれを利用していただく。

分科会からのハイライト



成沢日報論説副委員長の講評は「もっと高度な討議内容を期待していた」とのことであるが、二日間の大会日程中、部会討議は、実態発表の時間を合めわずか二時間というのでは、内容の掘り下げを期待する方が無理だったのかも知れない。今後は、同テーマを闊公連大会、全公道大会へと積み上げていく方針であるが、県内からの参加メンバーが、必ずしも一致せずはじめからむし返しの討議となりやすいことが悩みの一つである。せめてこの分科会ハイライトでも読んでいただいていた積み上げの实を上げていただきたいたいものだ。

(盛況だった第1分科会)

第一部会

住民のよりよい生活へ、明るい社会を築くための公民館の行財政はどうかあるべきか。

第一分科会(市街地、都市周辺)

・助言者 富田佐渡郡村会長
五十嵐県社会教育主事
・実態報告者 長岡市公民館長補佐 皆川隆司氏

学校PTAがあり強い圧力者となっている。住民全体が公民館の後援者となるよう公民館は住民と直結しなければならぬ。
2 市町村の総合開発計画や、長期教育計画にそって、多面的な広報活動を通じて、また、住民の要求をキャッチして、それを事業内容に盛り込んでゆく。
3 公民館職員は、一般行政職の職員の身分であるが、行政事業を通じて、教育職員と考えている。

第二分科会(農山漁村)

・助言者 庵原羽茂町長
宮川県社会教育主事
・実態報告者 岩船郡山北村公民館五十嵐主事
・司会者 十日町市公民館池田主事
・参加者 九十二名

1 公民館の統廃合による問題
地区館を充実した方がよい。分館を充実したが良いの二つの意見がでたが、統廃合をすることが良いのではなく住民の立場になり分館を充実したい。
2 職員の問題について
一般部局との人事行流について優秀な主事が行政部局へ吸い上げられるが、公民館の性格を充分考慮した配属がなされるべきで、後任者には、優秀な人材がほしい。そのためにも身分待遇を考慮されたい。
これら改善について、法文化(条例)等によって解決されなければならぬなどの問題意識を残して終わった。

第二部会

住民のよりよい生活と明るい社会を築くために公民館関係団体とのように関連をもつべきか。

第三分科会(社会教育関係団体)

・助言者 仲田崇社教主事
山崎県社教主事
・実態報告者 東穂郡安原町公民館内山主事
・司会者 新潟市中央公民館小野二、公民館は、各種団体の連絡線か疑う。

主事
参加者数 六二名
1 文部省や県では、次々と新たな学級育成を指導するため、時に婦人は困惑している。
2 道城婦人の気持を知っているのか疑う。

ベテランのプロフィール

相川町公民館主事

山本一磨氏

都立大の三井にみちた後々たる氏の一面が今先生が、『佐渡に語りがれてきている。どんな高しいうとな人にも愛されられしまれヒューこれはほんとにマニマニにあられた一面は、あんなに困って一期待される人間像の表徴といえるんですか?』でもいいたこと。

と東京教育大学 昭和三十年に公民館主事になつて開かれた日る前は、会社に勤められ化学製本社会教育学会 品の研究に当り、兵隊では特攻のかえり道であ 隊員として沖縄に転戦、復員後るきながら感慨は青年団を結成八〇名の初代深そうにつぶや 団長、郡連議議長等社会教育活動かれた。というに献身 昭和二十八年に役場書のは山本さん 記となる。

発表が注目されたから。 去る七月九、十日と地元相川町で開かれた第十六回県公民館高千公民館で編集した『高千大会では大活躍。晴れの地元大会で優良公民館主事として表彰されて四〇分間も各大学の教授がされたのもうべなるかな。



資格に社会教育主事もちろん 労務監理士・経営調査士とはが広い。スポーツもテニスと水泳のベテラン。家庭では二男二女のパパだが、長男は東京、長女は高校寄宿舎、本人は相川域の実業調査が叫 下宿 奥さんは石名とバラバラはれたころ、六〇〇円を、一戸一戸訪びのび、ただ一つの楽しみ「家族旅行」も当分駄目らしい。
(文責編輯部)
(写真は山本主事)

大会

※ 三、青年の減少が目立っている。手合を引き上げると共に、目的課題部門別の小団活動を養成し、協議会の中に位置づけた青年団とすべきではないか。

第四分科会(社教)

- ・助言者 山崎聖社教主事
- ・司会者 鉄道神崎町社教課長
- ・発表者 皆川貞十社教課長
- ・参加者 三七名

公民館が地域住民のすべに本仕し、解放的な文化活動の機関であり他の専門的機関と住民との結びつきであり、仲間つくりの場であるから行政関連機関との連携は困難がある。だがやらねばならぬ。

例えば、成人式を例にとれば、国民の例であるが、全市民あげあつとも、実践にあたっては、あつとも組織と連携を要する。

第三部会

住民のよりよい生活へ、明るい社会を築くために公民館は国民運動としての、新生活運動、明るく正しい選挙推進運動、貯蓄推進運動、健康運動をどのように展開したら良いか。

第五分科会

- ・助言者 工藤真社教育主事
- ・実務報告者 新井田市民館館長 山田順吉氏
- ・司会者 刈羽公民館館長 木村博保氏

国民運動も健民運動もその意味は良い、要は新しい生活を作り出すことだ。新生活運動、運動を展開して行くために公民館は住民に運動の意味を良く認識してもらうとともに、実践にあたっては、あつとも組織と連携を要する。

第六分科会

- ・助言者 相沢保社教育主事
- ・実務報告者 直江津市公民館主事

この県大会の裏方さんにしても、その例外ではない。たった、これだけの準備のため、半年余の時間を費し、十数回にわたる会議を開いてきた。しかも、深層に及んだことさえある。

裏方さん繁昌記

てんやわんやの八カ月

矢野甫夫氏

・司会者 龜田町高橋社教主事

・参加者 二〇名

一国民運動にして、健民運動にして住民の自主的、主体的な活動のとして取りあげるよう努めるべきだ。一つの問題を取りあげる時その時点だけでなく、あらゆる機会を要するのであって、運動そのものをとらえて、その前準備、展開を要実践するのは、本務ではない。 (大会速報による)

名古屋から京都までの東海道 女性をからかったり、考えさせ練ぞいの耕地、そこには、昔の、られた東京の高校生もあつた。その農民の姿が見られた。新彼らの行動や態度が、見知らぬ幹練やハイウェイ、国鉄や私鉄、観光客や土地の人々とのような線の間を点する水田には、牛、印象をあたえるのか、かかって焚やクワを手にした人たちが、教師の指導、統率にあると感じていた。田のこの月でも、見られたことであつた。

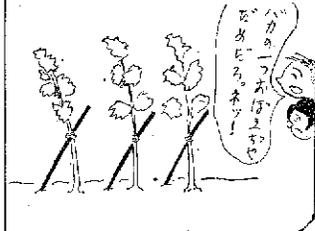
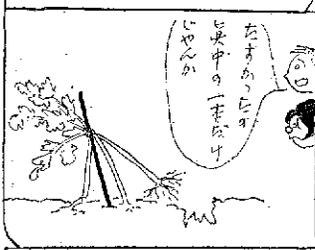
れぞうな曲がりくねつたあせ、東宮のしあわせな屋敷の下に、わが町に共通したなやみのあることがわかつた。きかせられたのは、川西田の功なりを奉とけた人、あつぎがないというのである。自分たちは農家の二、三男の田小学校を終えるとすぐに東京へ出た。テッチ泰公ひとすじに励み、主人に認められ、ノレをわけてもらい、ようやく今日を得た。学問がなかったばかりに、苦勞したが、子どもには決つてこの思いをさせまい、そう考へて、ムリして大学教育を受けさせた。ところが、卒業したむすこは、オマシ

旅で拾った話

京都、奈良、伊勢は、どこもおびただしい人波で、こつたがえていた。そのほとんとは、修学旅行の児童や生徒だつたといえる。臨見島から来たといふ中学生は、何話しかけても、ってサラリーマンになつた。西八キハキと答えてくれて、感ぜよ、つて築きあげたこの町をたれた。米子市の小学生が旅のにゆすつたらよいのか、こつたエチケットをじつによく守つて、つてはけく、スが多いといふいたのには感心した。その反面、こつた核の家族が、こつた紙くを散らしたり、他人のれまでの直系世代家族を押しめいわくを無視してさわいらはじめた。広報(かわ)しよ

お茶ッピイ子

7統合と並列 うつき、かす



(第16回 園遊会 大田大田)

◎ 彼等の苦勞は、開会の拍手でねざられるのだ。(大会速報)から

「わが家の家計簿」体験談募集

主催 貯蓄増強中央委員会
都道府県貯蓄推進委員会
後援 日本放送協会

「豊かな家庭生活」への羅針盤として役立てたいという
趣旨から全国の皆さんから家計簿の貴重な体験談を募集し
ます。

○ 内 容

家計簿をつけばはじめた動機、家計簿をつける苦労話
や家族の協力の様子、家計簿で発見したムダやム
リ、最近の物価高を家計簿記帳により、うまく乗り
切った体験、家計簿をつける喜びや、つけてよかった
こと、グループによる家計簿記帳の勉強ぶり、家計
簿をもとにした、これからの明るい生活設計、など
なんでも自由に書いて下さい。

○ 原 稿

- (1) 本文は400字詰原稿用紙5枚程度 (2,000字)
- (2) 原稿には、応募者の住所・氏名(ふりがなをつ
ける)、職業、年令、家計簿記帳年数のほか、
同一家計でくらす家族一覧表(応募者との続柄
・年令・職業・就学状況など)をそえて下さい。
本文のほか最近3か月の記帳内容のわかる表を
そえて下さい。
- (3) 応募原稿はお返ししません。封筒の表面に「家
計簿体験談」と書いて下さい。

○ し め 切

昭和40年9月30日(木) (当日消印有効)

○ 入 選

特選	3編	賞金	各3万円
秀作	7編	"	各2万円
佳作	40編	"	各5千円

入選者には賞金のほか記念品を、応募者全員には
貯蓄増強中央委員会作製昭和41年版「あかるい生活
の家計簿」をさしあげます。なお、入選編の著作権
は主催者に帰属します。

○ 入選発表

昭和40年12月上旬、本人に直接通知するほかNHK
放送などで発表します。

○ 審 査 員

大浜英子(評論家、中央選挙管理委員会委員長)他

○ 送 り 先

新潟県貯蓄推進委員会
新潟市尚厩町 日本銀行新潟支店内

県青年学級生大会開催要項

1. 趣 旨

県下の青年学級生の代表が一堂に会し、口頭の青年学
級の成果について話しあいをおこない、研修、交歓を
とおして県下青年学級生の連絡提携をはかるとともに、今
後の青年学級の発展に資する。

2. 主 催

新潟県教育委員会 村上市教育委員会 NHK新潟
放送局

3. 協 賛

新潟県公民館連合会 新潟日报社 新潟放送

4. 期 日

昭和40年8月28日(土)、29日(日)

5. 会 場

村上市 瀬波温泉(羽越線 村上駅下車 バス10
分) すずきが池旅館

6. 参 加 者

市町村各青年学級生代表

7. 講 師

NHK海外報道班員(交渉中)

8. 助 言 者

県青年学級研究協議会委員 県社会教育主事

9. 分科会の編成

第1分科会	第1次産業従事青年
第2分科会	第2次産業従事青年
第3分科会	第3次産業従事青年

10. 分科会の議題

現代における青年の正しい生き方を確立するための
学習はどうあるべきか。

11. 研究内容

- (1) 講義 本県青少年教育の現状と問題点
—青年学級を中心として—
- (2) 実状発表 ・青年学級生代表 3名
・県外研修生代表 1名
- (3) 講演 世界の青年
・世界各国の青年を、教育、文化、
生活、職業などの広い面からとらえ
記録フィルムを通しての講演

まだまだ未熟な段階

飛田一郎

今回のねらいは、社会の発展に取らざるべき必要を感じ、
に伴う家庭教育、家庭生活の諸問題について、簡単に論じら
れたいが、社会開発の中で教育
方針を討議し、あわせて、社会
教育の発展に寄与するのが主題
である。

今回、新しく提案された「社
会開発と社会教育」の問題が、
今までの研究会で論議されな
った分野である。社会開発と
は、国民の経済面の発展を旨
す、経済開発に対し直接国民
福祉向上を目指した施策や計画
を指している。

これは、経済の高度成長の反
面、地域住民のこの福祉面が
ろそかにされている傾向の反省
として提案されたものである。
社会開発の概念についても、
また具体的に明確化されてい
ないが新産業都市建設など若者進
みつつある現状において、社会
教育の面からの取り組みが一つ
の問題となってきたのである。

人口問題協議会には、社会開
発とは、都市、農村、住宅、交
通、保健、医療、公衆衛生、社
会福祉、教育などの社会面の開
発の領域に並列的に教育が組み
込まれているが、教育の立場か
ら考えると開発の主体的である
人間そのものの問題として別個
である。

全国的な社会教育委員連絡協議会
の都道府県への加盟は、未だ二〇
府県が不参加の現状では、文部
省としても、本腰を入れていく
わけにはいかない状態ではな
い。

現時点における公民館の役割 (その2)

部落の合理的再編成

島川 鉄 二一

制度のあらゆる部門がどつと市町村に譲渡をもちこんでいるのが現状である。これを受ける住民側は驚愕感であり、消化不良を起しかねない。制度側はこのためもあって徹底をはかるために、まずまず制度的組織をもつておこなう。その結果、部落間の無政府状態という現象が表われ始めた。

この段階において部落(町内会)こそ、これをどう受けとめ、これをどう受けとめて行くかの基礎を固めなければならない。この意味は、訪問調査を例にとると、この集会は公民館が育ったものではあるが、公民館の下部組織でもなく、むしろ生活そのものがあるべきである。ここに部落の合理的再編成が創作されねばならぬ時立ち至っているのである。

ウケイスの気持

都立大の三井先生が佐渡へ来る

「ウケイス」の中ホトトギスの微視的な方向(ミクロの動き)を、ライブラリーにあるフィルム「島の瀬とミ」の中ホトトギスの微視的な方向(ミクロの動き)を、

ちの記憶に新しいものでありま

広域社会 教育活動

今までのべてきたことは公民館

としての本質的な役割であった。一方巨視的な方向(マクロの動き)に視点を移すと、地域開発と社会教育活動の問題がでてくる。県の総合開発計画(その一)の拠点開発計画、新産業都市、低開発地区工業開発計画等の推進と公民館の任務の問題がある。この二つは公民館の地区を越えた広い地域を結ぶ社会教育活動が必要になってくる。

地区を越えた 結婚相談所

羽茂町公民館天沢主事さんの使

りを用いよう。

新しい役割

いろいろとべたのでこの辺で新しい公民館の役割をまとめてみる。

- 第一は、広域社会教育活動
- 第二は、部落の合理的再編成
- 第三は、第一、第二の役割を統一的にこなせる「問題解決の可能性」である。

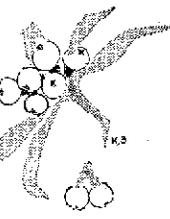
「今、羽茂町と小水・赤沼公民館で結婚相談所を開設すべく独身者カードの作成をはじめています。家庭の経済状態・資産、本人の履歴・青年団やグループ活動、趣味・特技なども記入されるものです」(社会教育主事)

ことは三昧

お天気さまと思案

教子からもう手紙の宛名に

よく先生様という文字がみつけれ



あとがき

県大会も無事終って、こんどは関公庫大会(甲府市)全国大会(佐賀市)へと問題を積み上げていくことになります。このたびの大会は、会場が海を越えての佐渡、しかも両津からバス・時間以上、観光シーズン中の相川町というので、参加者も、追元も大へんな苦労をいたしました。大会の運営等につきましても、いろいろの不満の声も聞かれたようですが、どうか御買

容のほど願ひ上げます。

さて、40年度の関プロ公民館職員研修会も2ページに御案内のように佐渡の三会場を行なわれることになっております。事務局は地元関係者は、準備陣に大わらわです。異外からもかなりの参加者があるものと思ひます

が、県内参加者は、自分も受け入れ側の一人なのだという気持ちで積極的に参加していただきたいと思ひます。

いよいよ暑くなつてまいりました。健康第一でたのみます。

起て、牧村公民館

清水 義郎

社会教育は、そして学校教育の隆に於いてその存在は、軽視されがちなのに、教育の根幹は社会教育から、村の振興の拠点も公民館より、村の理事者の方々が社会教育の重要さを認識されて、牧村公民館が郡唯一の奇、異下

でも珍しい

独立公民館として美しい桜

並木の中の赤い屋根をまきまき

れに気付く人は少ないのですが

牧村の方々には、それに期待を

かけて派手な施設と優秀な人材に

この館の中で一日も休まず

発な公民館活動をつづけて

昭和三十六年全国唯一の文部大臣

表彰をうけられたのは、私

れた昔の青年団の人たちと、社

「館報まき」の

しかし、焼酎を整理して

「館報まき」の